

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス　ふぉー				支援プログラム		作成日		2025 年		3 月		15 日	
法人（事業所）理念		子供に寄り添い、子供と目一杯遊び、子供とともに学ぶ													
支援方針		・子供の健やかな成長と発達を図ることを目的とし、日常生活における基本的な生活習慣の獲得及び集団生活への適応などの支援を行います ・事業所の指導員は利用者の心身の特性を踏まえて、その有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、コミュニケーション力や視覚・聴覚・知覚を高める活動を通じて子供たちひとりひとりに自信を持たせるサポートに努めます ・支援実施に当たっては、地域及び家族との結びつきを重視し、行政機関・地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的な支援に努めます													
営業時間		9 時		0 分		17 時		0 分		まで		送迎実施の有無		あり なし	
		支 援 内 容													
本人支援	健康・生活	基本的な生活習慣（食事・排泄・清潔・睡眠・身だしなみ等）の定着を図ります 日々の活動の中で健康管理の基礎（手洗い・うがい・体調報告など）を学びます 自分の体の状態に気づき、適切に伝える力を養います													
	運動・感覚	粗大運動（ボール遊びなど）を通じて体幹・筋力・協調運動の発達を促します 感覚統合遊び（砂・水・粘土・トランポリン・感触遊びなど）で感覚の過敏・鈍感さへのアプローチを行います 安定した感覚入力により情緒の安定を図ります													
	認知・行動	認知的発達を促す課題（パズル、図形合わせ、順序立てなど）やゲームを取り入れ、集中力・記憶力・思考力を育てます スケジュールやルールの提示を通して見通しを持った行動を習慣化します 問題行動が見られる場合にはその背景を理解し、適切な行動を身につける支援を行います													
	言語コミュニケーション	絵カード・写真・視覚的支援を活用して、表現力・理解力を育みます 相手の話を聞き、自分の思いや要求を伝える力を育てます 日常のやり取りや遊びの中で会話のキャッチボールを体験し、自然なコミュニケーション力の向上を目指します													
	人間関係社会性	小集団での活動やごっこ遊びを通じて、友達との関わり方やルールのある行動を学びます 挨拶、順番、貸し借り、感情表現などの社会的スキルの習得を目指します 失敗体験も含めて共感・励ましの中で自信を持たせ、人と関わることの楽しさを体験できるよう支援します													
家族支援		保護者とのこまめな連絡や個別面談を通して、お子様の様子や変化を共有し、家庭との一貫した支援を図ります 保護者の不安や悩みに寄り添い、必要に応じて情報提供・相談支援・関係機関との連携を行います 保護者同士の交流の場（茶話会など）を設け、孤立感を軽減し、子育ての仲間づくりをサポートします						移行支援		小学校・中学校・高等学校など進学先との連携を行い、個別支援計画に基づいた支援を提供します 事前に環境を知る体験や訪問活動などにより、安心して新しい環境へ適応できるようサポートします 卒業後の支援サービスや制度についての情報提供を行い、家族と一緒に将来の見通しを持てるよう支援します					
地域支援・地域連携		学校・保育園・幼稚園との連携を密にし、スムーズな支援の継続を図ります 医療・福祉・行政機関との連携を通じて、お子様の状況に応じた専門的支援を受けられるようにします 地域の行事や施設利用を通して、子どもたちが社会と自然に関わる機会を大切にします						職員の質の向上		法人理念・支援方針を全職員が理解し、共通の価値観のもと支援にあたるよう定期的な研修やミーティングを実施します 外部研修への積極的な参加や、専門職（保育士・児童指導員・PT・OT・ST など）による指導を通して、専門性の向上を図ります 支援の振り返り（ケース会議・事例検討）を通して、子ども一人ひとりへの理解を深め、チームとして質の高い支援を提供します 新人職員へのOJTやマニュアル整備により、安定したサービス提供ができる体制を構築します 保護者や関係機関からの声に耳を傾け、日々の支援に活かす姿勢を大切にします					
主な行事等		季節ごとのイベント（節分、七夕、ハロウィン、クリスマスなど）を通じて、日本の文化や行事に親しみを持たせます 誕生日会などを通して、自己肯定感の向上を図ります 公園への外出、社会見学、地域のお祭り参加など、地域交流も積極的に行います													